

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	―――	―――	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性 能	コネクタの挿抜力	φ0.53±0.003 の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.15 N 以上	○	―
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を除く。	挿抜力 25 N 以下	○	―
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗：30 mΩ以下	○	―
	耐振性	周波数 10～ 55～ 10Hz、振幅 0.75mm 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	―
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	―
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをか合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	―
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95 %中に 96時間放置する。	①絶縁抵抗：10 MΩ以上（高湿時） ②絶縁抵抗：100 MΩ以上（乾燥時） ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	―
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗：100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	―
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、500 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	―
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	―
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	―
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 5±1 秒間ルガ-ホット部へ当てる。	外観に機能を損なう変形及び著しいガタがないこと。	○	―
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で 2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	―
	耐水圧性	適合コネクタをか合した状態で 水圧 1.8mに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	―
	耐気圧性	適合コネクタをか合した状態で、コネクタ内部に17-圧 17.6kPaを 30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	―
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	18.02.22
			検 図	HY. KOBAYASHI	18.02.22
			担 当	TY. SUZUKI	18.02.21
			製 図	HM. SAITO	18.02.19
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-117383-33-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF07WBPD-6S (33)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-0020-6-33	△ 1/1